

市民意識調査に基づく現状分析

～市民参画指数の視点から～

尼崎市 都市政策課

市民参画指数

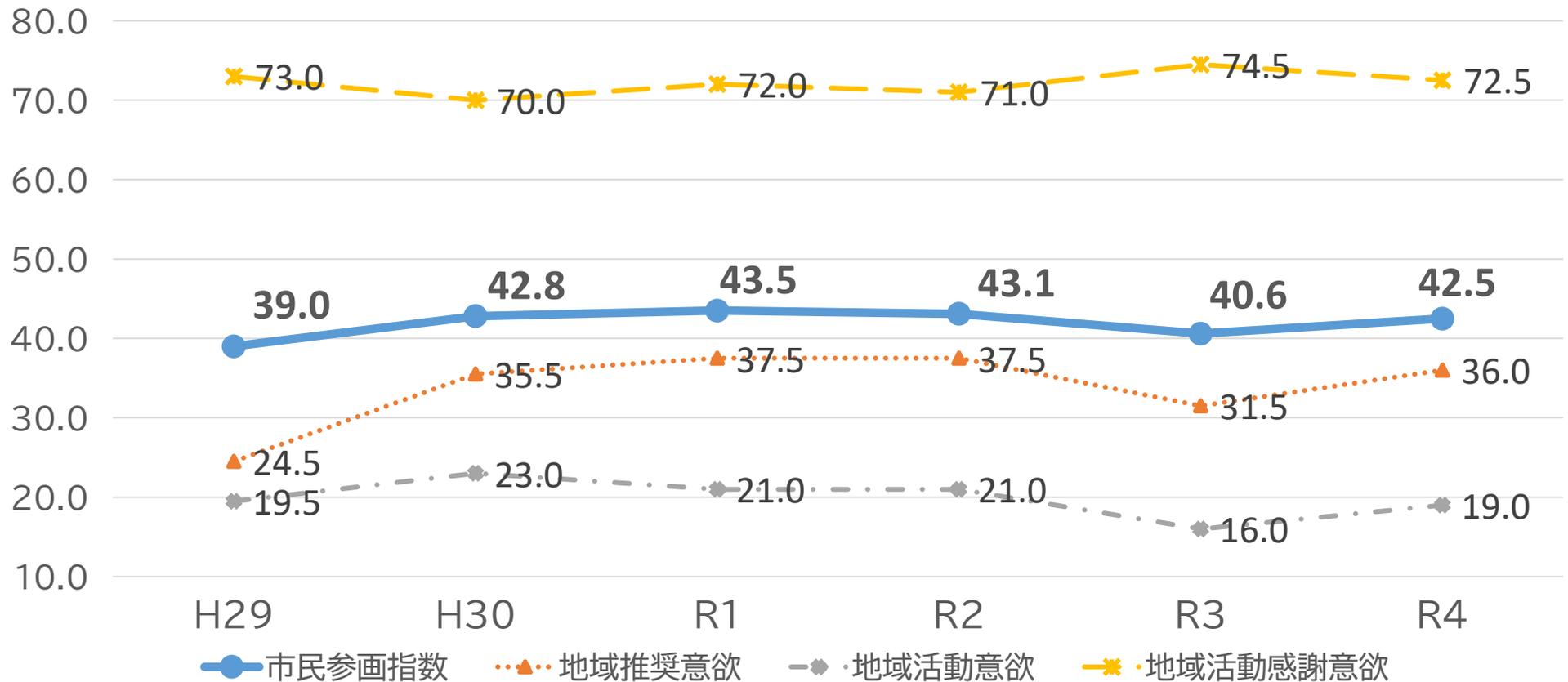
- 市民参画指数は、第6次尼崎市総合計画の総合指標の1つとして設定
 - ①「まちをお勧めしたいと思う『地域推奨意欲』」
 - ②「まちをよくするために活動したいと思う『地域活動意欲』」
 - ③「まちを良くするために活動してくれている人にありがとうと思う『地域活動感謝意欲』」の3つの意欲で構成
- 意欲については、毎年度実施している市民意識調査によって確認

市民参画指数の分析

(地域推奨意欲・地域活動意欲・地域活動感謝意欲の3つの意欲から構成)

- 市民参画指数に影響を与える可能性のあるものについて、経年比較とクロス集計を実施
- 経年比較では市民参画指数はほぼ横ばい、3つ意欲においても比較
- 年齢、居住年数、家族構成、住宅の広さ、居住地区（6地区）、安全・安心、まちのイメージ、住環境、職員の身近さ・接遇力などの分析を実施
- 分析結果をもとに、市民参画指数を高めるための取組について検討

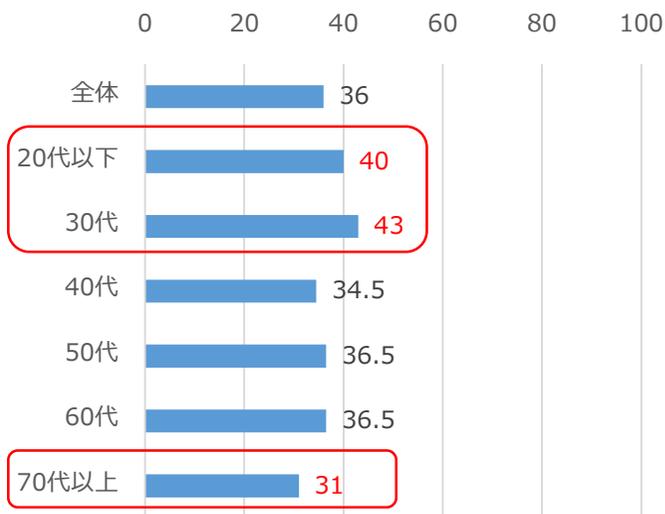
市民参画指数と3つの意欲



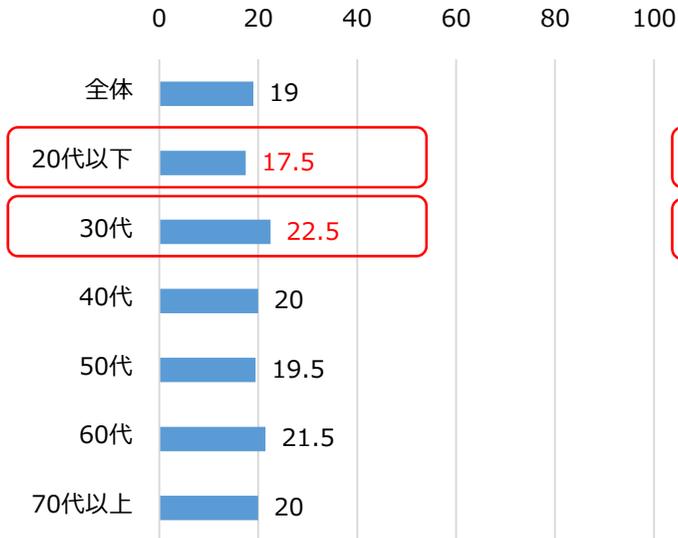
- 市民参画指数はほぼ横ばい
- 活動意欲はコロナによりイベントが激減したことで減少していたが、直近では上昇
- 推奨意欲は若干上昇傾向

3つの意欲×年齢のクロス集計

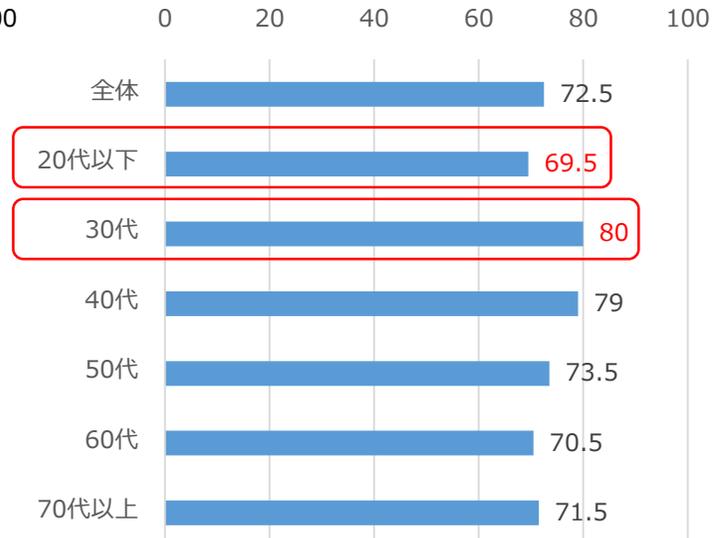
年齢×推奨意欲



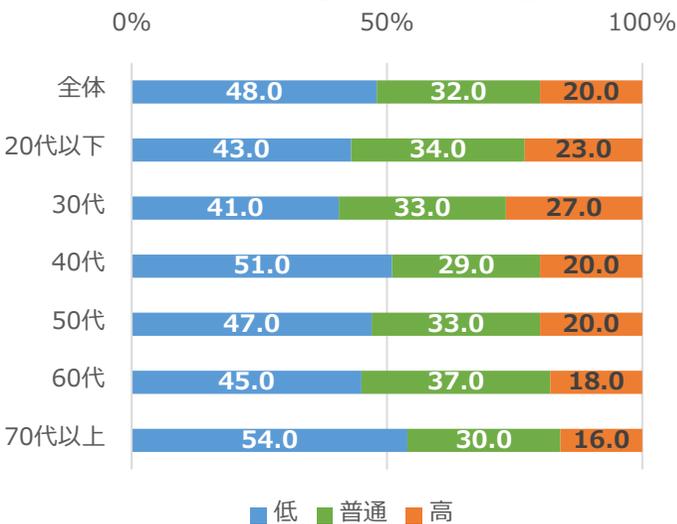
年齢×活動意欲



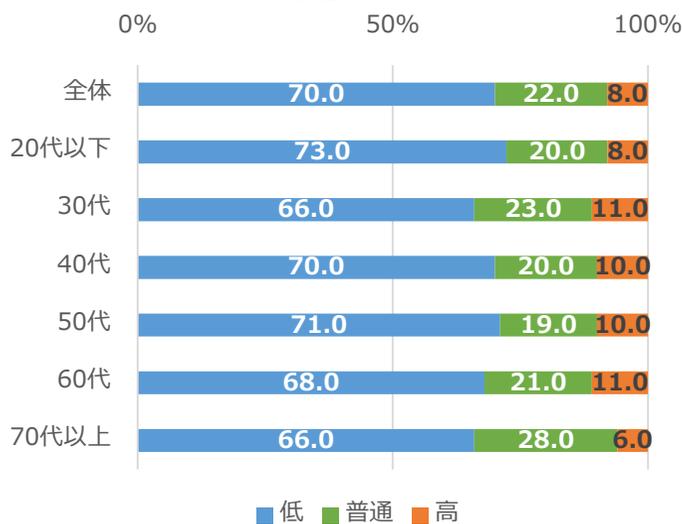
年齢×感謝意欲



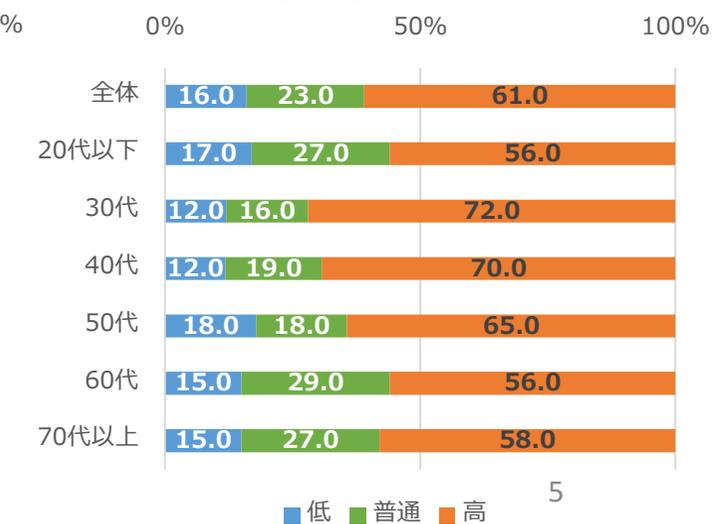
年齢×推奨意欲 (低～高)



年齢×活動意欲 (低～高)



年齢×感謝意欲 (低～高)



年齢とのクロス集計による分析

特徴

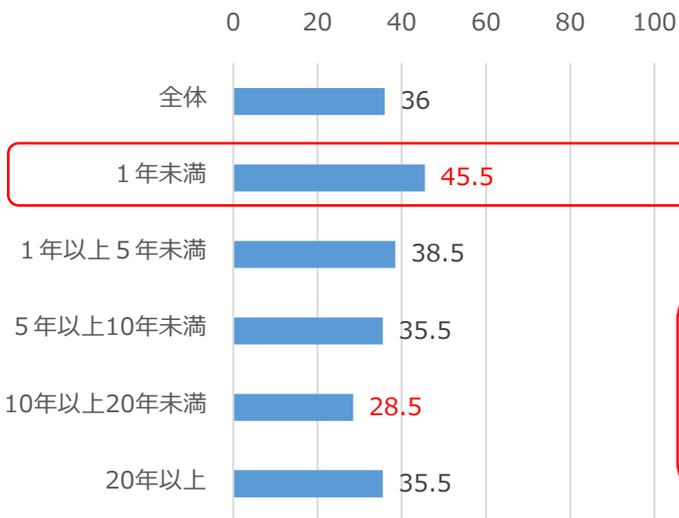
- ・ 70歳代以上の推奨意欲が低い
- ・ 20歳代以下、30歳代は推奨意欲が高い
- ・ 20歳代以下は活動意欲と感謝意欲が低く、子育て世帯が最も多い30歳代はともに高い

市民参画指数を高めるアイデア

- ・ 70歳代以上の方が参加される事業やイベント等での周知等、（特に）70歳代以上にポジティブな情報が届くような発信手法の検討
- ・ 「Instagram」「X」「TikTok」といった若年利用者の多いSNSの活用
- ・ 「自治のまちづくり」の考え方への共感を高める周知
- ・ 託児付きイベントの充実や時間的負担の軽減など、子育て世代が参加しやすいイベントの充実・周知や子育てしやすい環境づくり

3つの意欲×居住年数のクロス集計

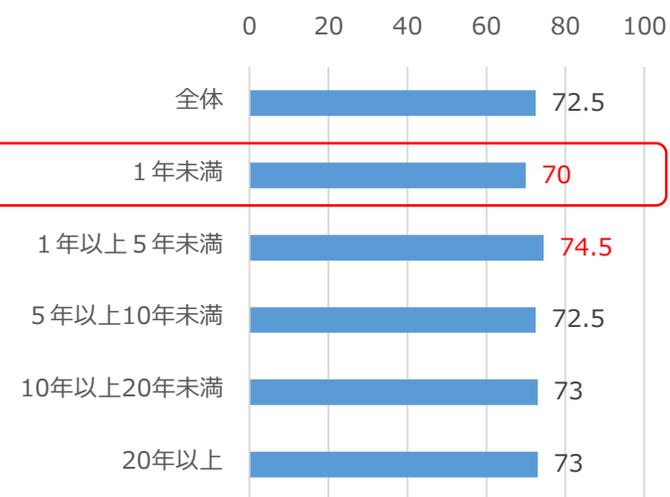
居住年数×地域推奨意欲



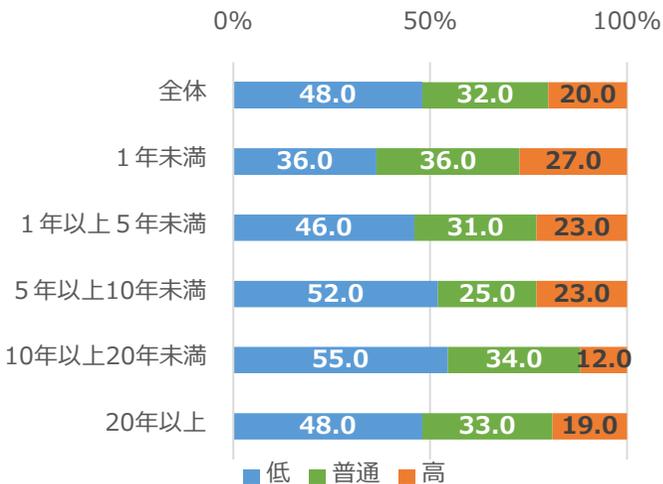
居住年数×地域活動意欲



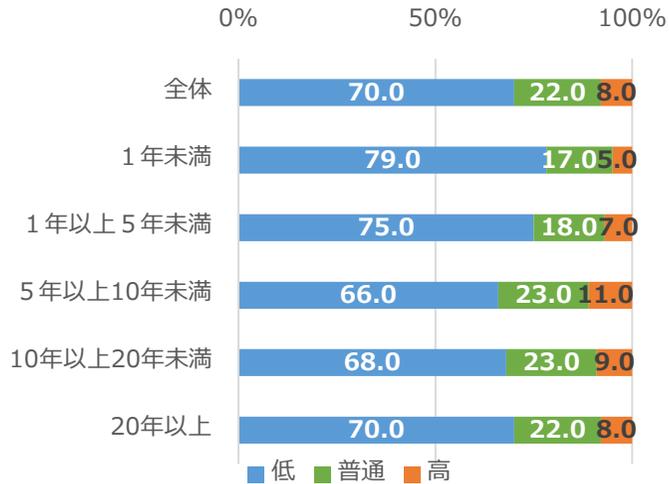
居住年数×活動感謝意欲



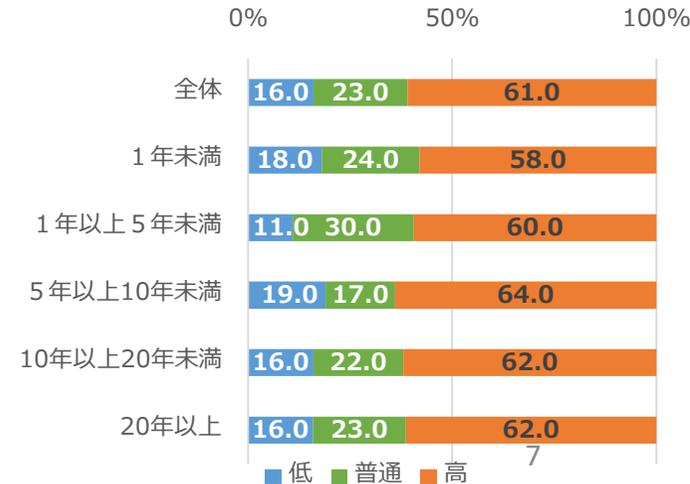
居住年数×推奨意欲（低～高）



居住年数×活動意欲（低～高）



居住年数×感謝意欲（低～高）



居住年数とのクロス集計による分析

特徴

- ・ 居住 1 年未満の方の推奨意欲が最も高い
- ・ 居住 1 年未満の方の活動意欲、感謝意欲が低い
- ・ 居住 5 年を経過した方の活動意欲が高くなる傾向がある

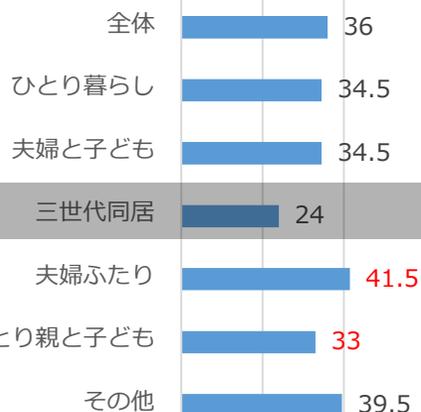
市民参画指数を高めるための取組案

- ・ まちづくりに関心を抱いてもらえるよう、転入届の手続きの際などに、気軽に参加しやすい地域活動や地域とつながるメリットなどをPR
- ・ 転入前から市のイメージを良いものとしてもらうため、不動産会社等へ情報発信
- ・ 5 年以上継続して本市に住み続けられるような施策の検討

3つの意欲×家族構成のクロス集計

家族構成×推奨意欲

0 20 40 60 80 100



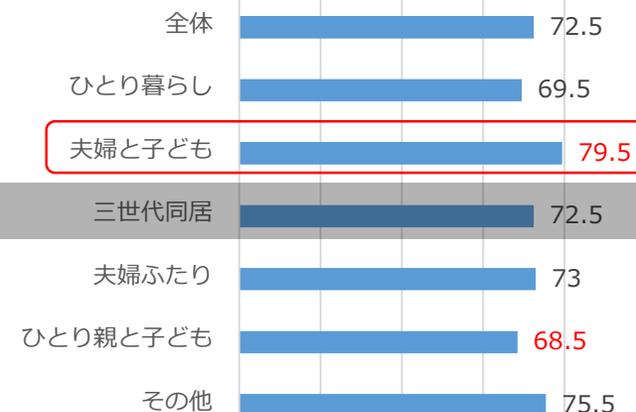
家族構成×活動意欲

0 20 40 60 80 100



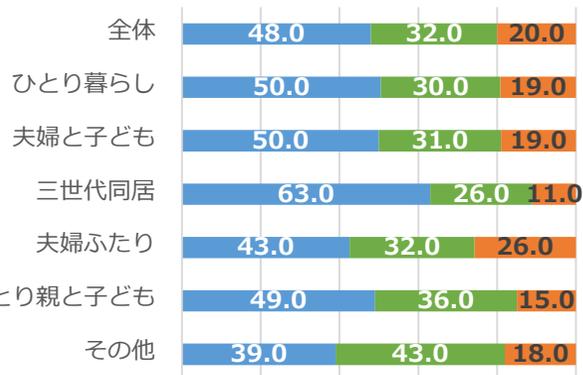
家族構成×感謝意欲

0 20 40 60 80 100



家族構成×推奨意欲（低～高）

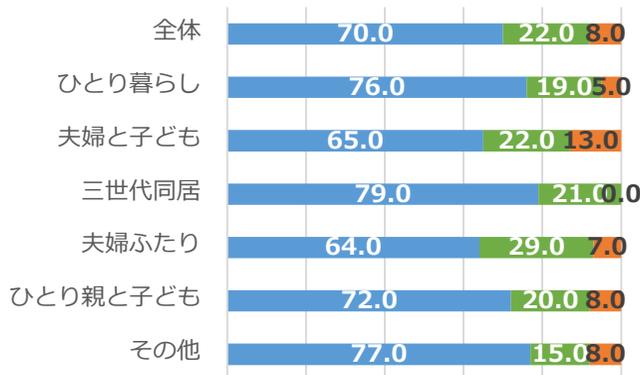
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 低 ■ 普通 ■ 高

家族構成×活動意欲（低～高）

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 低 ■ 普通 ■ 高

家族構成×活動意欲（低～高）

0% 20% 40% 60% 80% 100%



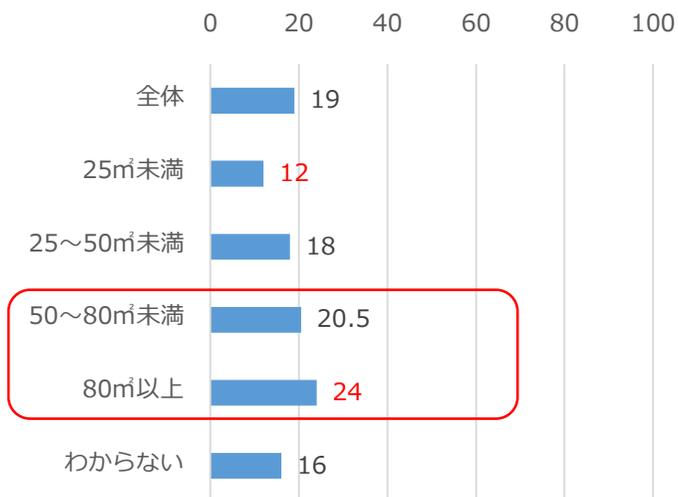
■ 低 ■ 普通 ■ 高

3つの意欲×住宅の広さのクロス集計

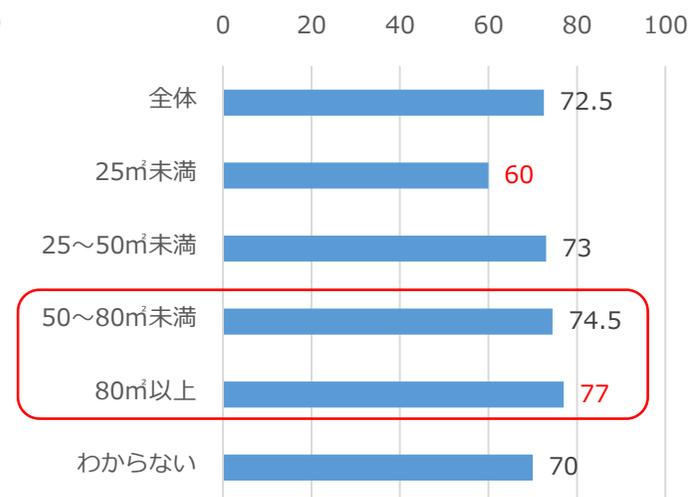
住宅の広さ×推奨意欲



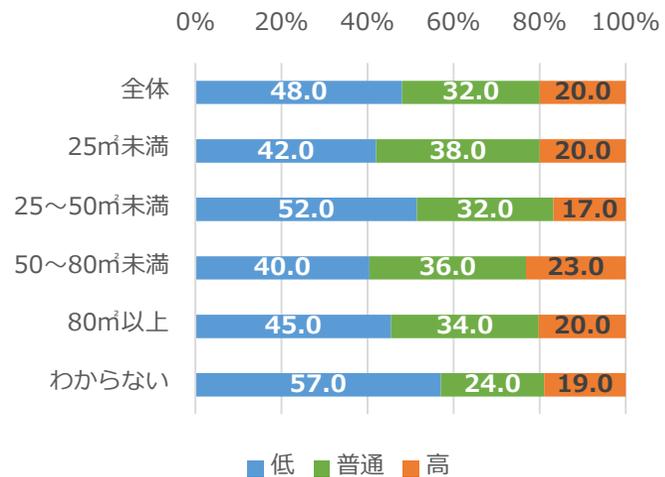
住宅の広さ×活動意欲



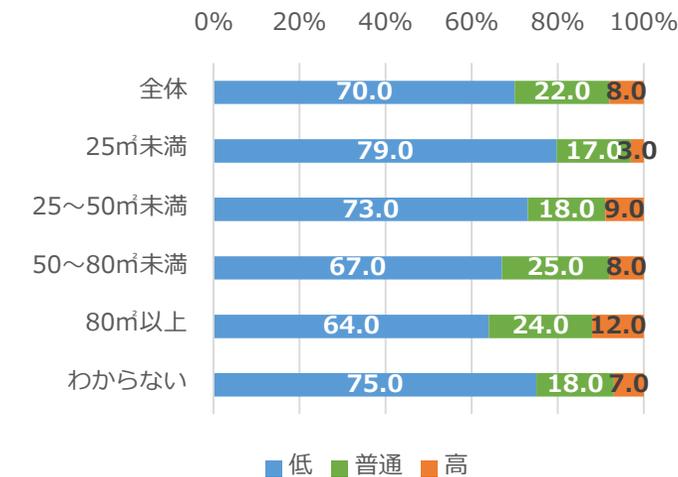
住宅の広さ×感謝意欲



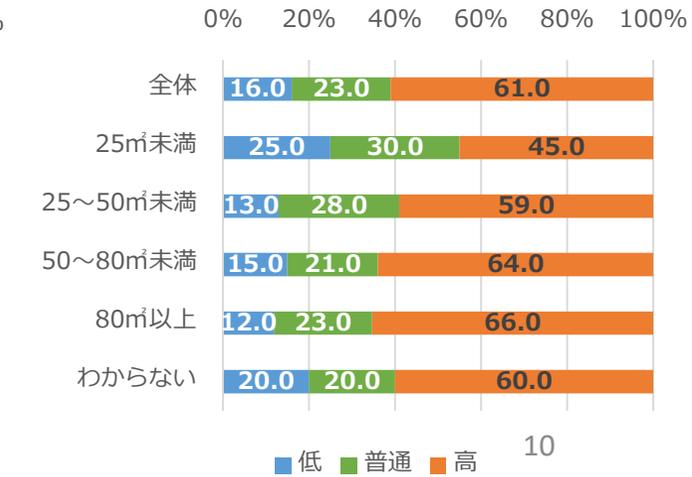
住宅の広さ×推奨意欲 (低~高)



住宅の広さ×活動意欲 (低~高)



住宅の広さ×感謝意欲 (低~高)



家族構成、住宅の広さとのクロス集計による分析

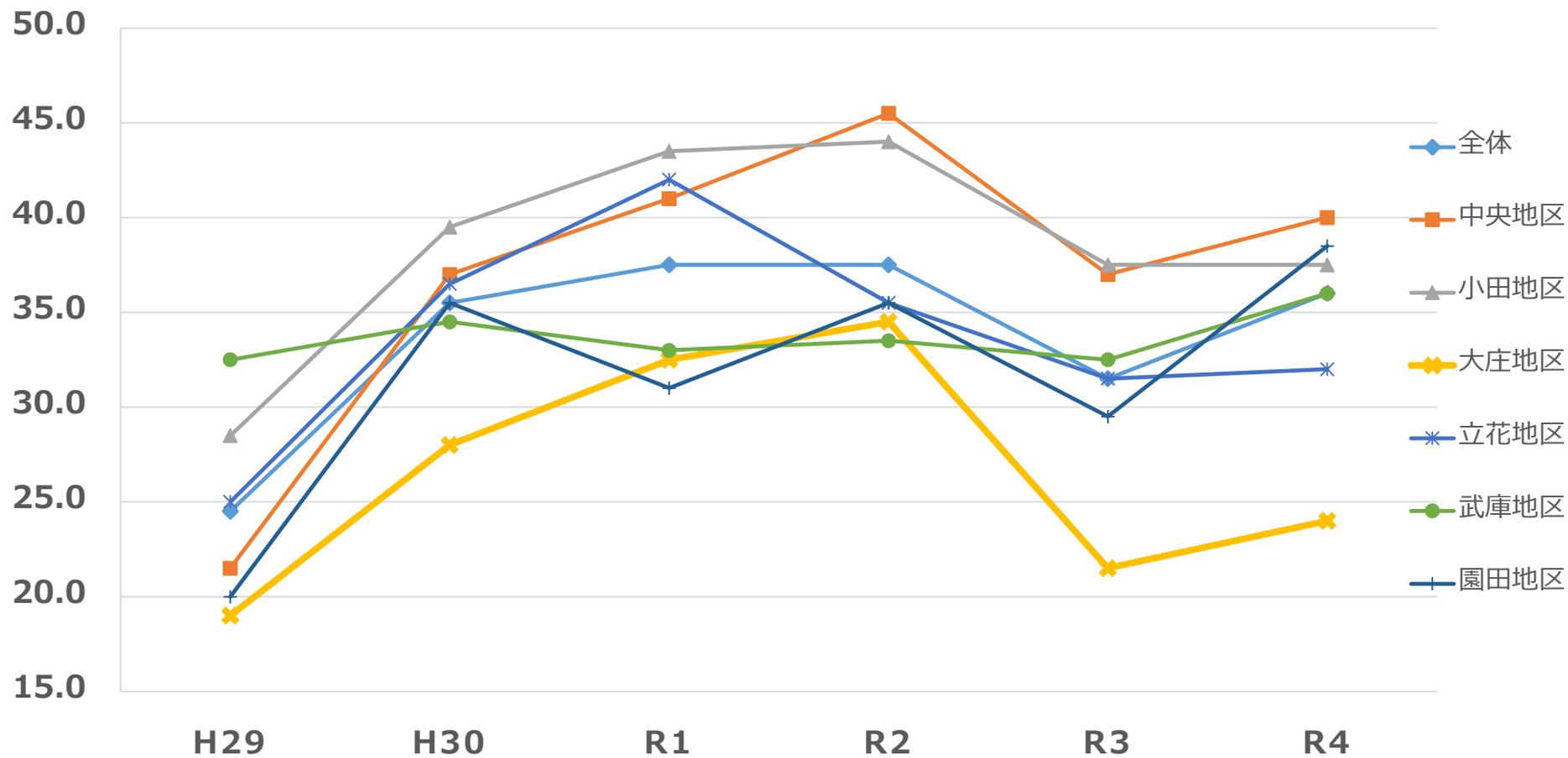
特徴

- ・ 夫婦と子ども世帯の活動意欲と感謝意欲が高い
- ・ 一人暮らし世帯の活動意欲と感謝意欲が低い
- ・ 概ね50㎡以上の住宅に住んでいる方の各意欲が高い

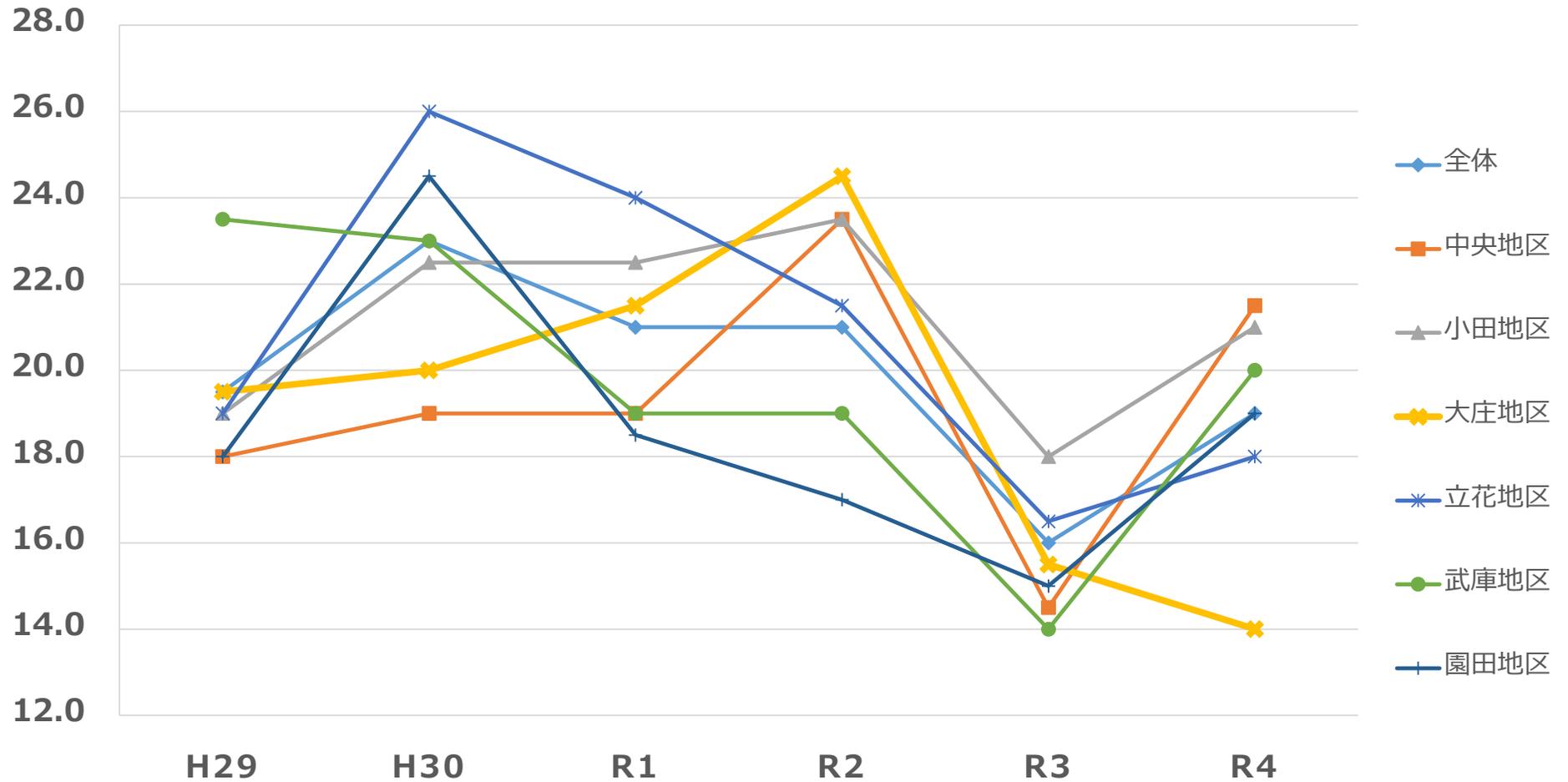
市民参画指数を高めるための取組案

- ・ 子育て期、子育てファミリー予備軍となる夫婦ふたり世帯に、様々な活動の場や、活動している人を「AMANISM」や「子育て情報発信サイト」などを活用して周知
- ・ ひとり暮らし世帯は若年、高齢等が混在しているが、孤立を防ぎ、まちづくりへの意識を高めるため、ターゲットを絞ったプッシュ型の広報等を実施
- ・ ゆとりある良質な住宅の供給を促す施策を展開

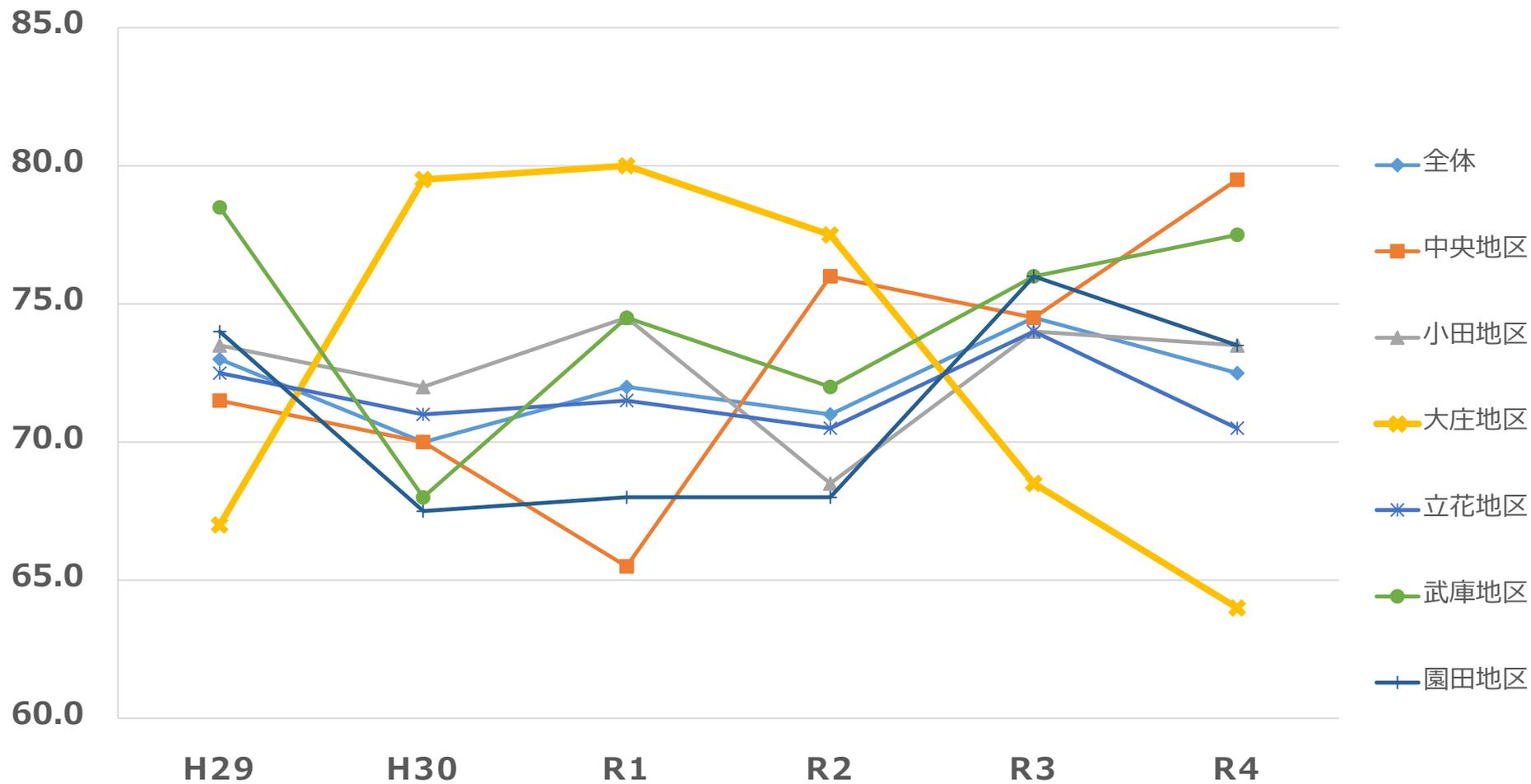
H29～R4 地区別地域推奨意欲の推移



H29～R4 地区別地域活動意欲の推移



H29～R4 地区別地域活動感謝意欲の推移



居住地区の経年比較による分析

特徴

- ・各地区とも、コロナによる活動の低下の影響を大きく受けている
- ・大庄地区の推奨意欲が低い傾向にあり、また、活動意欲についても他地区がポストコロナに向けて改善傾向にある中、低下している

市民参画指数を高めるための取組案

- ・地区ごとの市民の現状や今後のまちづくりの受け止めについて把握
- ・推奨意欲が低い地区に対する、シビックプライド向上に向けた取組の重点化

3つの意欲×安全・安心のクロス集計

「そう思う・どちらかといえばそう思う」の回答者の理由（N≒10程度の回答を除く）

	地域推奨意欲			地域活動意欲			地域活動感謝意欲		
	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差
全体	965	35.9		957	18.9		967	72.9	
近隣住民とのつながり	115	44.8	8.9	114	28.1	9.2	116	77.6	4.7
医療の体制	161	39.7	3.9	162	22.2	3.3	165	77.6	4.8
福祉サービスの体制	65	45.4	9.6	62	25.9	7.0	64	73.5	0.6
公害の有無などの環境面	32	36.0	0.1	31	29.0	10.1	32	84.4	11.5
消防・防災の体制	59	40.7	4.8	59	24.6	5.7	61	78.7	5.8
ごみの捨て方、喫煙などのルール・マナー	102	39.2	3.3	100	22.0	3.1	100	78.0	5.2
ひったくり、自転車盗難などの防犯	40	38.8	2.9	39	16.8	-2.2	39	66.6	-6.3
道路や街路灯の整備状況	143	46.2	10.3	140	22.1	3.2	142	79.7	6.8
周辺の住環境	193	43.3	7.4	192	17.5	-1.4	193	74.9	2.1

「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」の回答者の理由（N≒10程度の回答を除く）

	地域推奨意欲			地域活動意欲			地域活動感謝意欲		
	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差
全体	965	35.9		957	18.9		967	72.9	
近隣住民とのつながり	21	21.5	-14.4	22	15.9	-3.0	21	64.3	-8.6
福祉サービスの体制	21	28.6	-7.3	22	20.5	1.6	22	61.4	-11.5
所得の保障などの経済面	26	19.3	-16.6	27	11.2	-7.8	26	67.4	-5.5
ごみの捨て方、喫煙などのルール・マナー	136	22.4	-13.5	136	13.6	-5.3	135	71.2	-1.6
ひったくり、自転車盗難などの防犯	121	27.8	-8.1	121	14.4	-4.5	121	70.3	-2.6
自転車教室、利用指導などの交通安全	23	10.9	-25.0	22	11.4	-7.5	23	58.7	-14.2
道路や街路灯の整備状況	52	22.1	-13.8	52	15.4	-3.6	52	71.2	-1.6
周辺の住環境	30	31.7	-4.2	30	8.3	-10.6	30	70.0	-2.8

「安全・安心」とのクロス集計による分析

特徴

- ・安全で安心して暮らせるまちと感じている方について
 - ・「近隣住民とのつながり」を選んだ方の推奨意欲、活動意欲が高い
 - ・「道路や街路灯の整備状況」、「周辺の住環境」を選んだ方は推奨意欲が高い
 - ・「公害の有無などの環境面」を選んだ方は活動意欲と感謝意欲が高い

市民参画指数を高めるための取組案

- ・「安全・安心」をキーワードにした近隣住民とのつながりのさらなる醸成
- ・市民参画指数の向上を念頭に置いた、道路や街路灯などの整備
- ・農業公園、自然と文化の森構想、21世紀の森などを活用した、自然環境に視点を当てたイベントや活動、情報発信等の充実

3つの意欲×「イメージの変化」のクロス集計

「よくなった・どちらかといえばよくなった」の回答者の理由

	地域推奨意欲			地域活動意欲			地域活動感謝意欲		
	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差
全体	965	35.9		957	18.9		967	72.9	
尼崎城再建や歴史博物館開館などによってまちに新たなにぎわいが生まれた	44	46.6	10.7	44	27.3	8.4	43	72.2	-0.7
駅前周辺がきれいに整備されるなどまちの景観がよくなった	374	46.2	10.3	371	21.6	2.7	378	77.8	4.9
放置自転車やひったくりの減少により体感治安がよくなった	65	40.0	4.2	63	22.2	3.3	64	75.8	2.9

「変わらない」の回答者の理由

	地域推奨意欲			地域活動意欲			地域活動感謝意欲		
	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差
全体	965	35.9		957	18.9		967	72.9	
駅前周辺がきれいに整備されるなどまちの景観がよくなった	44	27.2	-8.7	45	7.8	-11.2	43	58.2	-14.7
空き家が増えるなど居住環境が悪くなった	17	8.8	-27.1	18	11.1	-7.9	17	67.6	-5.3
工場の閉鎖や空き店舗が増えるなどまちの活力が低下した	57	13.2	-22.7	57	8.8	-10.2	57	73.7	0.8
最近悪いニュースを聞いた	22	13.7	-22.2	22	9.1	-9.8	22	72.8	-0.1
その他	64	23.4	-12.5	64	14.9	-4.0	64	67.9	-4.9

※「悪くなった・どちらかといえば悪くなった」は、N=40程度であるため、除外している

「イメージの変化」とのクロス集計による分析

特徴

- ・ まちのイメージが良くなったと感じている方について
「尼崎城再建や歴史博物館開館などによってまちに新たなにぎわいが生まれた」を選んだ方の推奨意欲、活動意欲が高い
「駅前周辺がきれいに整備されるなどまちの景観が良くなった」を選んだ方は 推奨意欲が高い一方活動意欲、感謝意欲は低い
- ・ まちのイメージが変わらないと感じている方について
「空き家が増えるなど居住環境が悪くなった」「工場の閉鎖や空き店舗が増えるなどまちの活力が低下した」を選んだ方は、推奨意欲が低い

市民参画指数を高めるための取組案

- ・ シビックプライドを高めるため、尼崎城や歴史博物館といった施設を観光だけでなく、まちを語ることのできるコンテンツとして活用
- ・ イメージ向上のための駅前周辺のエリアブランディングの継続
- ・ 「この周辺で自転車盗難やひったくりが多発している」等のマイナスイメージではなく、イメージが改善しているなどのポジティブな発信
- ・ JR尼崎・JR塚口などの新興住宅地に居住している方々が地域活動に参加できるしかけづくり
- ・ 空き家対策や空き店舗などの有効活用やリベル、さんさんタウンなど駅前の商業施設等の開発

3つの意欲×「住環境」のクロス集計

住まいをはじめとする住環境は、快適で暮らしやすいと思いますか

	地域推奨意欲			地域活動意欲			地域活動感謝意欲		
	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差
全体	965	35.9		957	18.9		967	72.9	
そう思う、どちらかといえばそう思う (肯定的な回答群)	698	39.5	3.6	695	21.1	2.2	701	75.9	3.0
そう思わない・どちらかといえばそう思わない (否定的な回答群)	117	20.2	-15.7	115	13.5	-5.4	115	64.0	-8.9

「そう思う・どちらかといえばそう思う」の回答者（肯定的な回答群）の理由

	地域推奨意欲			地域活動意欲			地域活動感謝意欲		
	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差	合計	意欲	全体との差
全体	965	35.9		957	18.9		967	72.9	
日頃利用する公園の使い勝手	143	43.7	7.9	138	29.7	10.8	142	81.4	8.5
日当たりなどの生活環境	276	41.7	5.9	274	23.5	4.6	276	77.4	4.5
道の広さや歩道や自転車道の整備など道路の使い勝手	151	49.3	13.5	150	26.0	7.1	151	81.8	9.0
交通の利便性	590	41.3	5.5	587	21.1	2.2	590	75.1	2.2
緑豊かでくつろげる場所	67	45.5	9.6	65	35.4	16.5	66	86.4	13.5
河川・水路などの水に親しめる場所	77	48.7	12.9	77	24.7	5.8	77	81.9	9.0
娯楽施設や商業施設などの利便性	241	45.0	9.2	238	24.1	5.2	241	80.3	7.5
住まいの広さや居住性	158	43.1	7.2	156	18.6	-0.4	161	76.2	3.3

「住環境」とのクロス集計による分析

特徴

- ・ 住環境が快適であると感じている方について

「道の広さや歩道や自転車道の整備など道路の使い勝手」「河川・水路などの水に親しめる」を選んだ方の推奨意欲が高い

「日頃利用する公園の使い勝手」「緑豊かでくつろげる場所」を選んだ方の感謝意欲が高い

「緑豊かでくつろげる場所」を選んだ方は活動意欲も高い

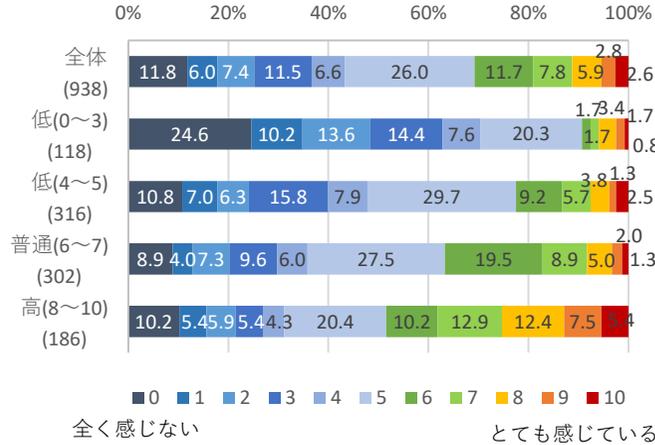
市民参画指数を高めるための取組案

- ・ 市民ニーズをとらえた道路や河川、公園の整備
- ・ 農業公園、21世紀の森、魚釣り公園、藻川周辺など自然環境の充実に向けた整備

3つの意欲×「市職員への評価」のクロス集計

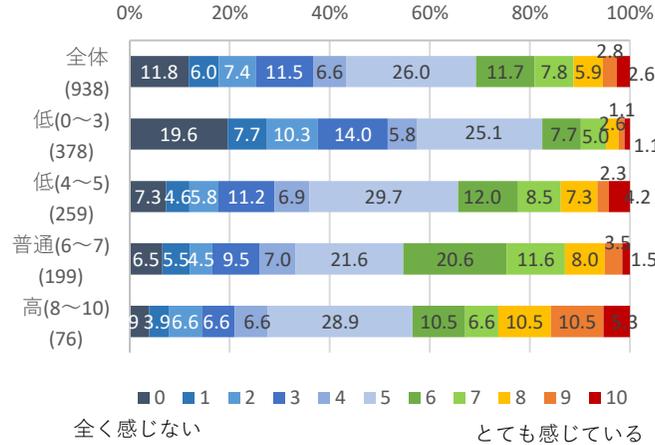
地域推奨意欲

Q6問1 あなたは本市の職員を身近に感じますか。



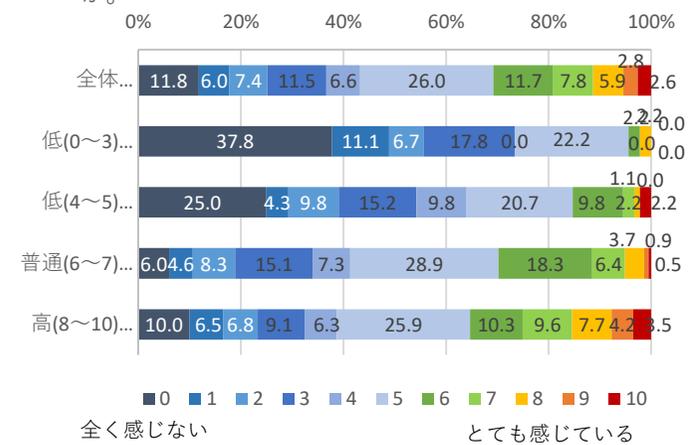
地域活動意欲

Q6問1 あなたは本市の職員を身近に感じますか。

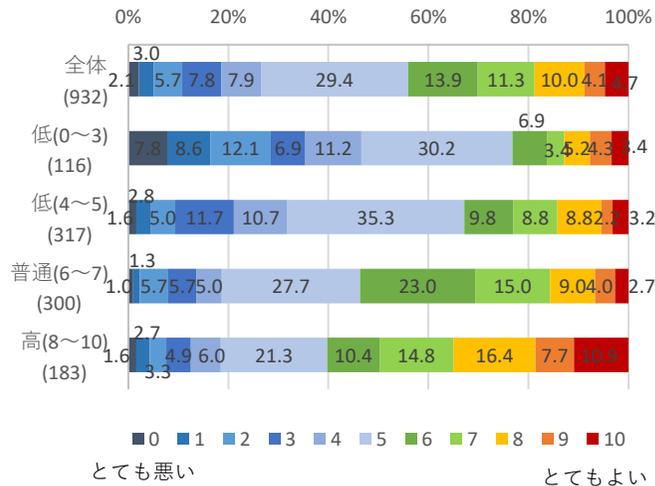


地域活動感謝意欲

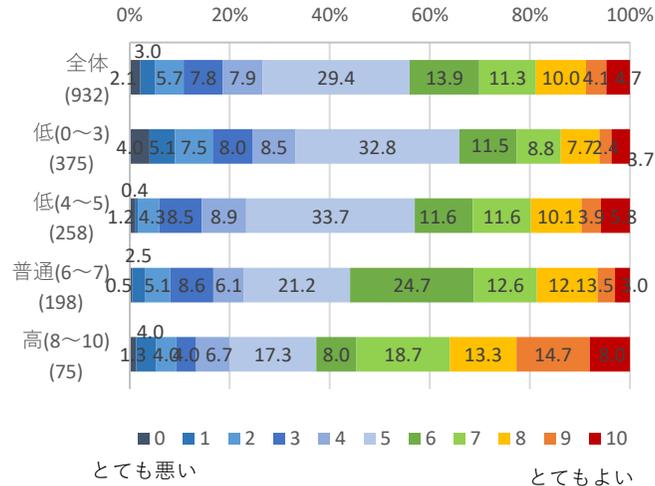
Q6問1 あなたは本市の職員を身近に感じますか。



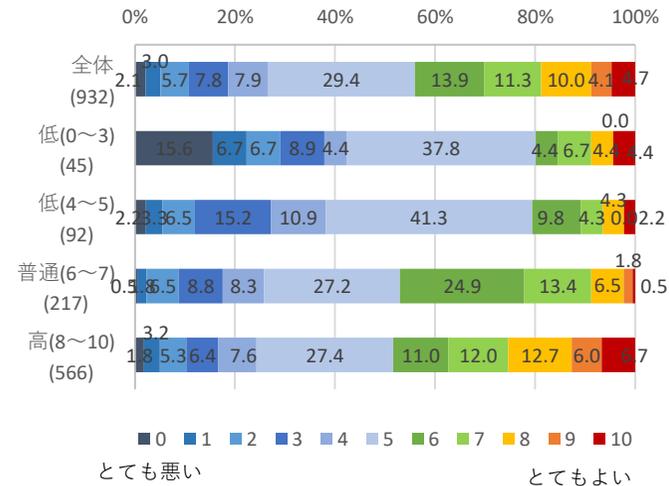
Q6問2 あなたは本市の職員の接遇力をどのように思いますか。



Q6問2 あなたは本市の職員の接遇力をどのように思いますか。



Q6問2 あなたは本市の職員の接遇力をどのように思いますか。



「市職員への評価」 × 各属性

Q7問02年齢

	合計	修正NPS	全体との差
全体	932	-37.1	
20代以下	153	-32.7	4.4
30代	119	-43.0	-5.9
40代	139	-43.2	-6.1
50代	136	-50.7	-13.6
60代	84	-36.9	0.2
70代以上	170	-19.9	17.2

Q7問03職業

	合計	修正NPS	全体との差
全体	932	-37.1	
フルタイム勤務	460	-46.8	-9.7
パート・アルバイト	100	-44.0	-6.9
自営業・自由業	56	-28.7	8.4
学生	10	-10.0	27.1
家事専業	74	-28.5	8.6
無職（求職中含む）	158	-20.3	16.8
その他	42	-19.2	17.9

Q7問04家族構成1

	合計	修正NPS	全体との差
全体	932	-37.1	
ひとり暮らし	289	-34.2	2.9
夫婦と子ども	238	-48.3	-11.2
三世帯同居	18	-39.0	-1.9
夫婦ふたり	203	-31.7	5.4
ひとり親と子ども	85	-24.8	12.3
その他	75	-38.7	-1.6

「市職員への評価（身近に感じるか・接遇力）」とのクロス集計による分析

特徴

- ・各意欲の他に、施策の満足度へも影響がみられる
- ・市職員への評価が高い方は各意欲が高い
- ・70歳代以上、無職、ひとり親と子ども世帯は市職員への評価が高い傾向がある
(実際に職員と関わる機会の多い方が高い傾向)
- ・フルタイム勤務の方の職員への評価が低い
(職員と関わらない方の評価が低い傾向)

市民参画指数を高めるための取組案

- ・新規採用職員向けの研修に加え、市民と接する機会の多い窓口対応を行う職員への定期的な接遇研修の実施
- ・ファミリー世帯をまちづくりへの参画につなげるため、妊娠・出産期の市民と接する機会の多い保健師等へまちづくりの意識醸成を図る研修の実施
- ・市や協働のまちづくりにかかる情報発信を通じた、市役所全体のイメージの向上